



市立小学校と連携し、博物館太陽望遠鏡を使ったオンライン授業を行いました。



令和3年9月10日(金)、浅口市立六条院小学校6年生の理科「月の形と太陽」の学習で、博物館と小学校をオンラインでむすび、Google Meetをつかった授業を行いました。(写真下)

授業のめあては、「太陽はどんな星か調べよう」。まず、太陽について知っていることを、児童それぞれがノートに書き、発表しました。その後、実際に遮光プレートをつかって太陽を観察してみました。太陽は小さな円形にしか見えず、くわしく観察することができませんでした。(写真中)



そこで、博物館と学校をオンラインでむすび、博物館から太陽のようすをライブ配信しました。(写真上)

博物館では、太陽ドーム内の15cmと8cm屈折望遠鏡で太陽の観察をすることができます。この望遠鏡でみえる太陽のようす(黒点やプロミネンス)を、電子黒板の画面を通して児童たちが観察しました。ちょうど、黒点やプロミネンスが見えていたので、映像にあわせて説明をし、太陽についての質問にも答えました。

博物館では、今後も市立学校と連携・協力し、オンラインを活用した事業を積極的に進めていきます。